

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	ドイツ語4	1	清水 威能子	
平成25年度以前	ドイツ語Ⅱb	1		
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ 現代の国際化した社会に対応するためには、世界の多様な価値観や考え方を学ぶ必要があります。また外国語でのコミュニケーション能力や、情報活用能力を養うことにより、将来の選択肢が広がることでしょう。この授業は、そのような実用的なドイツ語の運用能力(ドイツ語技能検定試験4級程度の語学力)の修得を目標とします。 またドイツ語圏の国(ドイツ、オーストリア、スイスなど)は、サッカー強国として知られていますが、そこには多様な歴史と文化をもつ都市(ベルリン、ミュンヘン、ウィーン、ザルツブルク、バーゼル、チューリヒなど)があります。ですから言語だけではなく、ドイツ語圏の都市、歴史、文化、社会も学び、国際的な視野を広げることも目指します。				言語
授業の概要 ドイツ語の基礎知識を確認しながら、読解練習、会話とリスニング、ドイツ語圏の国の文化理解といった3つの柱を軸に多面的に言語と文化を学びます。さらに映画などの映像や音楽を通して、ドイツ語圏の国について幅広い知識を獲得し、日本との比較を行います。 最後には、受講者にドイツ語圏の国の最新情報を収集して、個人またはグループで発表してもらいます。				共通
授業計画 第1回:ガイダンス、ドイツ語の基礎知識の確認 第2回:読解練習(ミュンヘン、ザルツブルク) 第3回:読解練習(ウィーン、ハンブルク) 第4回:読解練習(バーゼル、ベルリン) 第5回:読解練習(エッセン、アイゼナハ) 第6回:読解練習(ヴァイマル) 第7回:読解練習(ケルン) 第8回:文法の補足(受動態)とリスニング練習 第9回:文法の補足(接続法)とリスニング練習 第10回:ドイツ語圏の文化を学ぶ(1) 第11回:ドイツ語圏の文化を学ぶ(2) 第12回:ドイツ語圏の現代事情についての発表(1) 第13回:ドイツ語圏の現代事情についての発表(2) 第14回:読解練習(ドイツ語技能検定試験の過去問) 第15回:これまでの復習と補足 定期試験				専門基礎
テキスト 昨年度のドイツ語の授業で使用したテキスト、『ブーメラン』を使います。 初めてドイツ語を履修する人は、『ブーメラン・エルエー』、小野寿美子 他、朝日出版社を用意して下さい。				法律一般
参考書・参考資料等 独和辞典も必要です。				政治行政
学生に対する評価 授業時の課題達成度(30%)、発表(20%)、期末試験(50%)により総合的に判断します。				経営法務
				スポーツ福祉
				演習
				25年度以前
				言語系科目